

第2章 学校教育計画

I 学校教育の重点

【基本目標】

- ◆専門的知識・技能を持つ町民と連携した教育を実施することで、子どもたちの生きる力、ふるさとを想う心を育成します。
- ◆子どもたちに豊かな人間性が育まれるよう、創意工夫による特色ある教育を実施します。
- ◆グローバル化や情報化などに対応すべき知識・技能や情報モラルを身に付けるための教育を実施します。
- ◆鳥取県立岩美高等学校が目指す魅力化への取組を支援します。
- ◆学校施設の適正な管理や改修を行い、安全で安心な教育環境をつくります。
- ◆次期学習指導要領への対応を図ります。

★教育内容の充実

- (1) 言語活動を位置付けた指導と評価の充実に努める。
 - ①外国語活動支援員、ALTと共に小学校3、4年生から外国語活動に取り組み、先行実践していく中で、各校の指導計画を充実していく。
 - ②各教科等の目標と指導事項との関連、児童生徒の発達段階や言語能力をふまえて言語活動を計画的に位置付け、授業構成や指導方法の工夫改善を図りながら、各教科等の目標実現に努める。
 - ③中学校において英語検定を受験させることで、英語学力の向上と英語に対する学習意欲の向上を図る。(対象中学1年生全員、英語検定5級)
 - ④評価規準や評価方法を明確にし、指導と評価の一体化を図る。
- (2) 「内発的な学習意欲」「活用する力」を大切にした授業実践に努める。
 - ①体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習展開に努める。
 - ②児童生徒の興味・関心を生かした学習指導を展開し、自主的・自発的な学習が促されるよう工夫する。
 - ③とっとりの授業改革「10の視点」を活かした授業実践に努める。
 - ④計画を立てて家庭学習を進める力を育てることで、自ら学ぶ力を育てていく。
- (3) 家庭や地域社会との連携、豊かな体験をとおした心の教育の充実と学び続ける環境づくりに努める。
 - ①児童生徒が自己又は人間としての生き方についての考えや自覚を深める道徳教育に努める。
 - ②幼児・児童生徒に育てたい資質・能力を明確にしながら、自尊感情及び他者とのつながりやコミュニケーション能力を重視した人権教育を推進する。
 - ③土曜日の午前中を学校、家庭及び地域がそれぞれの教育資源を活用することで、充実した教育活動を進めていく。
- (4) 体育・健康に関する指導をとおして、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培う。
 - ①地域や学校の実態及び児童生徒の状況等を的確に把握し、全体計画をもとに家庭や地域の協力を得ながら計画的、継続的な指導に努める。
 - ②児童生徒が生涯にわたって心身の健康を増進していけるよう、栄養教諭を中心とし

た食育を推進する。

(5)指導力の向上と情報の発信をもとにした開かれた学校の推進に努める。

- ①教職員の連携・協働の体制づくりと、学校運営の参画意識の向上を図る中で、教員としての資質・指導力向上に努める。
- ②PDCAサイクルに基づく学校評価を生かした学校運営に努める。
- ③学校評価結果を保護者・地域と共有し、学校づくりに生かすよう努める。

(6)幼児・児童生徒の一貫性のある育ちや学びを推進し、相互連携・協力を努める。

- ①脳科学を基盤としたプログラムや認知行動療法を取り入れたプログラムを年長児、児童、生徒に行うことで、不登校やいじめの未然防止に努める。
- ②保・小・中・高の「学びと育ち」を見通した接続カリキュラム等の開発・実践に努め、家庭や地域と連携しながらスクラム教育を推進する。
- ③学習(保育)指導案に保・小・中で共通した視点を設け、授業(保育)改善に努める。
- ④一人一人のニーズに応じて「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」等を作成し、幼児期から学校卒業後まで、保・小・中・高の一貫した支援に努める。
- ⑤学校いきいきプランや少人数学級の実施等、職員配置の趣旨を活かした学校運営を推進する。

《主な事業》

岩美町進学奨励給付金、岩美町奨学資金貸付金、町費負担教員等、中高生徒就学支援事業、(中学校・高等学校等生徒通学費補助、岩美高等学校生徒下宿補助、高等学校等新入生通学費補助、中学生自転車保険加入補助)、外国青年招致事業、中学校英語学力向上(英検5級受験)、スクールソーシャルワーカー活用事業、教育支援センター運営事業、学校いきいきプラン事業、通級指導教室運営費、少人数学級編制費、要保護・準要保護児童生徒援助費、いわみ未来塾の実施、図書館教育の充実(学校図書館司書配置)、学校評議員の配置、学校給食共同調理場運営費、土曜授業の実施、土曜授業コーディネーターの配置

☆次期学習指導要領への対応

(1)特別な教科「道徳」への対応

- ①通知票、指導要録の評価の仕方について研修を実施。

(2)小学校英語への対応

- ①英語活動の時間数を小学3・4年生週35時間、小学5・6年生週70時間を実施する。

☆特色ある教育の実施

(1)家庭・地域と連携しながら特色ある学校づくりを推進する。

- ①人との関わりをとおして、山陰海岸ジオパークをはじめとする自然・歴史・文化等のよさを体感できる学習展開に努める。
- ②社会貢献活動やボランティア活動を通して有用感を感じる学習活動に努める。
- ③地域の教育資源を活用した持続発展教育(ESD)の推進に努める。

(2)沖縄県国頭村との児童交流など、豊かな体験活動を推進する。

(3)鳥取県立岩美高等学校が目指す魅力化への取組を支援する。

《主な事業》

沖縄県国頭村児童交流事業、特色ある学校づくり推進事業、ユネスコスクール岩美町地域連携コーディネーターの配置、岩美高等学校振興活動支援補助

☆家庭、地域との連携

- (1)「早寝、早起き、朝ごはん」「チャレンジデー」等を推進し、保護者や地域との連携を図りながら、幼児・児童生徒の生活習慣や読書・学習習慣の確立に努める。
- (2)学習支援や環境整備等、学校応援団（支援ボランティア）を組織化し、地域とともにある学校づくりに努める。
- (3)町立図書館及び岩美町子ども読書活動推進協議会と連携しながら、読書好きな幼児・児童・生徒の育成に努める。
- (4)中央公民館・地区公民館等、関係機関及び各種団体との連携を図り、地域ぐるみの教育活動を推進する。

《主な事業》

学校応援団（支援ボランティア）事業，スクラム教育の推進

☆学校施設の整備、管理

- (1)安全で安心して学ぶことができるように、学校施設の整備に努める。
- (2)スクールバス運行により、遠距離児童の送迎や校外学習の機会を提供する。

《主な事業》

小学校空調整備（普通教室、特別支援教室のエアコン整備）

スクールバス維持管理費，教材備品整備費

学校業務支援システムの導入（県内市町村共同調達）